

令和7年7月9日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



長岡市

「安禅寺御用記」シリーズ 第8弾 刊行記念！ 長岡市史双書を読む会を開催します

歴史文書館は、長岡市史双書No.63『蔵王権現領安禅寺御用記（8）日並記・日記・諸掛合留・諸願書留（文化12年）』の刊行を記念して、恒例の「長岡市史双書を読む会」を開催します。

今回は、江戸寛永寺の末寺・安禅寺（長岡市西藏王）に伝わる蔵王権現領の役人の記録から、文化12年（1815）の長岡のできごとを読み解きます。

つきましては、下記のとおりお知らせしますので、周知にご協力いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

長岡市史双書を読む会

「蔵王権現領安禅寺御用記(8) 日並記・日記・諸掛合留・諸願書留（文化12年）」

- 日時 ①7月12日（土）②7月26日（土） 全2回
①午後2時～3時30分 ②午後2時～4時10分
- 会場 長岡市歴史文書館 1階 講座室
（長岡市長倉西町458番地7）
- 講師 長岡郷土史研究会会員・歴史文書館職員
- 定員 40人（先着）（7月8日現在38人）
- 参加費 無料（テキスト代1,500円）
- 申込方法 電話・来館（詳細は別紙チラシをご覧ください） ▲テキスト



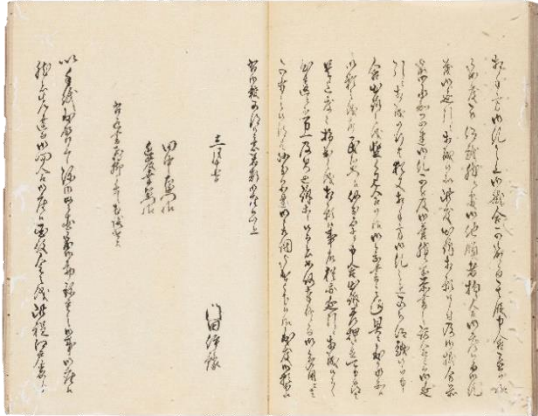
長岡市史双書は、長岡の先人の日記や書簡、諸記録などを活字化した資料集です。既刊には、戊辰戦争後、長岡の復興に尽力した三島億二郎の日記や、山本五十六の書簡、新型コロナウイルス関係資料をまとめたものなどがあります。

問い合わせ：教育部中央図書館 歴史文書館 広井
TEL 0258-36-7832

令和7年度 長岡市史双書を読む会

蔵王権現領安禅寺御用記(8)

日並記・日記・諸掛合留・諸願書留（文化12年）



長岡市史双書をテキストに、昔の長岡のすがたを読み解く講座です。

今回は安禅寺（蔵王三丁目）に伝わる古記録「安禅寺御用記」から、文化12年（1815）における長岡・蔵王の人びとの様子やできごとを探ります。

◀ 文化12年「諸掛合留」

（院内原新田開発訴訟について村松藩への返書）

【会 場】 長岡市歴史文書館 1階 講座室

【日時・講座タイトル・講師】 ※開場：午後1時30分 / 第1回と第2回で終了時刻が異なります。

回数	日 時	講座タイトル	講 師
第1回	7月12日（土） 午後2時～ 3時30分	蔵王権現と長岡の歴史	歴史文書館 館長 広 井 造
		日並記の世界	長岡郷土史研究会 会員 池 田 茂
第2回	7月26日（土） 午後2時～ 4時10分	民右衛門の災難 ～村松藩郡奉行との掛合～	歴史文書館 会計年度任用職員 林 朋 子
		「諸願書留」と市史双書編集のうらばなし	同 桜井奈穂子
		蔵王代官、訴えられる ～文化十年の駕籠訴一件～	同 岡田佐輝子

【受講料】 無料（テキスト代1,500円）

テキストは、長岡市史双書No.63『蔵王権現領安禅寺御用記(8) 日並記・日記・諸掛合留・諸願書留（文化12年）』を使用します。お持ちでない方は初回到頒布代金1,500円をご持参ください（お釣りのないようお願いします）。

【定 員】 40名（先着） ※1回のみ参加も可能です。

【申し込み】 受付期間：6月10日（火）～7月9日（水） 電話もしくは直接来館のみ

【申し込み先】 長岡市歴史文書館 ※休館日…日曜日・月曜日・祝日

〒940-0849 長岡市長倉西町458-7

電話 0258-36-7832（開館時間：午前9時～午後5時）

◎水分補給のための飲み物などの御持参をお勧めします。